

# 大槌高校探究発表会・研究協議会 大高生の“大槌” 聴きに来てけでさ フェスタ2025



日時

令和7年2月22日（土）  
10:00-16:40

場所

大槌町文化交流センター  
おしゃっち

対象

どなたでも  
参加いただけます！

申込



上記のQRコードより  
お申込みください。

申込み〆切 2月19日（水）

第1部

10:00-12:05

1年生 大槌町の課題解決  
アイデア発表会



私たち  
こんな大槌の  
未来をつくりたい！

第2部

12:45-15:00

2年生 マイプロジェクト  
活動成果発表会



地域のみなさんに  
伝えたい！  
私のマイプロ

第3部

15:20-16:40

3年生代表 18年間で  
身についた“大槌”発表

研究協議会  
パネルディスカッション



元高校生  
クイズ王者も  
参加！

主催

岩手県立大槌高等学校  
大槌町・大槌町教育委員会

お問合せ先

岩手県立大槌高等学校  
(担当: 魅力化推進員 星野 七海)  
TEL 0193-42-3025

## 第1部 (10:20-12:05) 1年生 | 大槌町の課題解決アイデア発表会

## 私たちにはこんな大槌の未来をつくりたい！

1年生は、大槌町の行政事業や地域課題について理解を深める「SIMulationおおつち」に取り組み、自分たちで考えた10のテーマに対して、町内外でのフィールドワークも行なながらチームで解決策アイデアを考えてきました。当日は半年以上考えてきたアイデアと大槌町の理想の未来について発表します！

- 取り組んできたテーマ
- ・震災を経験していない私たちの世代が担う震災伝承とは？
- ・災害時の犠牲者を0にするために必要な避難とは？
- ・若者の地域コミュニティへの参加率を高めたい！
- ・公民館や集会所を活かした多世代の交流をもっと生みたい！
- ・自然環境に左右されない特産品を開発したい！
- ・高齢者が本当に求めている福祉サービスって？
- ・大槌町へのターン者を増やしたい！
- ・学習意欲の高い中高生の意欲を維持、向上させたい！
- ・海ゴミを減らすためになにができる？
- ・野生鳥獣被害を減らすためには？



特産品開発に向けた出汁づくり

- フィールドワーク先 津波伝承の館・地域食堂（沢山地区）  
 安渡公民館・波板公民館（沢山自治会）  
 おおつち地場産業活性化センター  
 母ちゃんハウスだっこ・大槌町役場  
 大槌学園・吉里吉里学園・NPO法人吉里吉里国  
 大槌町漁業組合・その他地域住民のみなさま



町外フィールドワーク

- フィールドワーク先  
 ・盛岡市（震災伝承・避難）・滝沢市（地域コミュニティ）  
 ・紫波町（多世代の交流）・大船渡市（特産品）  
 ・陸前高田市（福祉サービス）・宮古市（ターン者）  
 ・葛巻町（学習意欲）・気仙沼市（海ごみ・野生鳥獣被害）

町外の施策についてヒアリング

## 第2部 (12:45-15:00) 2年生 | マイプロジェクト活動成果発表会

## 地域のみなさんに伝えたい！私のマイプロ

2年生は、一人ひとりが興味関心のある事柄からテーマを設定して、地域をフィールドに活動をする「マイプロジェクト」に取り組みました。発表会では、たくさんの地域の方に支えられてきた活動の成果や自分の成長についてお伝えします！

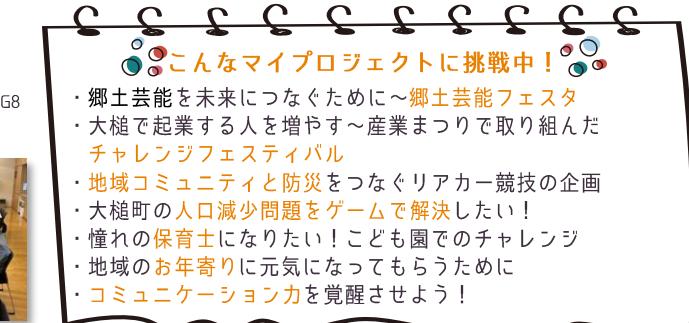


- フィールドワーク先 津波伝承の館・地域食堂  
 地域共生ホームねまれや・おおつちこども園  
 大槌町立図書館・一般社団法人おらが大槌夢広場  
 beauty salon Make Over・トレーニングジムKING8  
 わんにゃん美容室じゅのむ  
 韶音プロジェクト  
 植田医院  
 大槌町役場  
 他、地域のみなさま

テーマについて  
地域の方に相談

地域での中間発表会

- 中間発表会会場  
 ・沢山地区集会所・中央公民館赤浜分館  
 ・中央公民館安渡分館・中央公民館吉里吉里分館  
 ・桜木町保健福祉会館・大槌町多目的集会所（大ヶ口）



- こんなマイプロジェクトに挑戦中！  
 ・郷土芸能を未来につなぐために～郷土芸能フェスティバル  
 ・大槌で起業する人を増やす～産業まつりで取り組んだチャレンジフェスティバル  
 ・地域コミュニティと防災をつなぐリアカーアー競技の企画  
 ・大槌町の人口減少問題をゲームで解決したい！  
 ・憧れの保育士になりたい！こども園でのチャレンジ  
 ・地域のお年寄りに元気になってもらうために  
 ・コミュニケーション力を覚醒させよう！

## 第3部 (15:20-16:40) | 3年生代表生徒・研究協議会 パネルディスカッション

## 私が18年間で身につけた“大槌”

この春、大槌高校を卒業する3年生の代表生徒が0歳から18歳まで大槌で育つ中で身につけた「大槌（ハンマー）=強み」を地域のみなさまに伝えます。今回は代表して、飛田 泰英さん「私が大槌からもらったもの～マイプロジェクトの経験から～」を発表します！

## 大槌に必要なこれからの探究とは？

大槌高校では、令和元年度より大槌町と連携し、大槌高校魅力化事業に取り組み、今年度から新学科「地域探究科」が始動しました。そこで今回は、2010年高校生クイズ王者の田村正資氏をゲストにお招きし、「大槌に必要なこれからの探究とは？」をテーマに生徒とともにパネルディスカッションを行います。教育関係者の皆様はもちろん、地域住民の皆様もぜひご参加ください！

## 研究協議会 ゲスト



株式会社baton(QuizKnock)

新規事業開発

哲学者

1992年東京生まれ。伊沢拓司とともに、第30回高校生クイズ優勝（2010年）。株式会社baton(QuizKnock)では新規事業開発を手掛ける。そのかわらで哲学者研究者・作家としても活動しており、主著に『問い合わせ世界をつくりだす』があるほか、『群像』誌で『あいまいな世界の愛し方』を連載中。

田村 正資氏

## 研究協議会 モデレーター



映画評論家

京都芸術大学客員教授

1952年、福岡県生まれ。東京大学法学部卒業後、文部省に入省。初等中等教育局職業教育課長、広島県教育長、高等教育局医学教育課長、生涯学習局生涯学習振興課長、大臣官房審議官などを経て、2002年より文化庁文化部長。06年退官。『文部科学省「三流官庁」の知られざる素顔』『「学ぶ力」を取り戻す 教育権から学習権へ』『危ない「道徳教科書』など著書多数。